

## エチオピア：元駐日大使の亡命に関する情報

エチオピアの「2021年9月に離任した元駐日大使の米国亡命」に関する調査依頼に対し、難民研究フォーラムが規定の時間的制約の中で調査したところ、関連しうる情報として以下の情報が見つかりました。

略称：.....	1
1. カサ・テクレブルハン・ゲブレヒウオト（Kassa Tekleberhan Gebrehiwot）元駐日大使の経歴について.....	1
2. カサ・テクレブルハン・ゲブレヒウオト元駐日大使の亡命について.....	2
3. その他の関連情報.....	2
参照：.....	3
（利用した検索エンジン・媒体等）.....	3

### 略称：

#### 1. カサ・テクレブルハン・ゲブレヒウオト（Kassa Tekleberhan Gebrehiwot）元駐日大使の経歴について

カサ・テクレブルハン・ゲブレヒウオト元駐日大使は、TPLF 主導のエチオピア人民革命民主戦線（EPRDF）政権下で州政府や連邦政府等の要職を歴任し、EPRDF のハイレマリアム政権時代に駐米国エチオピア特命全権大使に就任し、その後、アビィ政権下で駐日本エチオピア特命全権大使に就任して 2021 年 9 月 13 日に離任しました。

#### ア 西ミシガン大学「[アフリカ開発国際会議の発表者 > Kassa Tekleberhan Gebrehiwot 大使](#)」（2022年12月20日閲覧）

エチオピア連邦民主共和国駐米国特命全権大使のカサ・テクレブルハン・ゲブレヒウオト閣下は、35 年以上にわたり、さまざまな立場で同国政府に貢献してきました。カサ・ゲブレヒウオト大使は、旧都セコタ（アムハラ州）で生まれ育ち、そこで生涯を通じた国家への奉仕を開始しました。エチオピアでは、人権保護と急速な経済発展の道を開く民主主義体制の確立のために、同僚らとともに尽力しました。同氏の公職での職歴は、州レベル及び連邦レベルでの立法府及び行政府での仕事を含め、広範囲かつ多岐にわたります。

カッサ・ゲブレヒウオト大使は、現職に就任する直前まで、連邦問題・牧畜地域開発担当大臣を務めていました。同大臣として、法の支配、相互尊重、多様なコミュニティ間の理解に基づく連邦政府と州の強固な関係作りに努めました。また、牧畜民や農牧民が暮らす地域など、特別な支援を必要とする地域への継続的な支援に大きく貢献しました。ゲブレヒウオト大使は連邦議会議長も務められ、すべての

エチオピア国民の平等と法の支配に対する公約が示され、連邦議会が円滑かつ適切に機能することに貢献されました。ゲブレヒウオト大使のアムハラ州での在任期間は、貿易産業局長や行政安全局長を含む4つの主要な役職で多くの責任を担ってきました。しかし、連邦政府での職務は、デグ政権崩壊直後の過渡期に、エチオピア国防省の司令官を務めたことに始まります。また、アディスアベバ大学、アムハラ開発協会、エチオピア鉱物・石油・バイオ燃料公社の理事長を務めるなど、その指導力と協調性は多くの公的機関から高く評価されました。また、故メレス・ゼナウィ首相の名で設立された財団の理事会の副理事長やゴンダール大学の理事も務めました。カサ・テクレブルハン大使は、戦略的計画開発プログラム、司法部門改革プログラム、治安官開発プログラム、紛争管理・変革プログラム、地域警察プログラムなど、いくつかの開発プログラムにも参加し、その奉仕は多岐にわたっています。これらすべての職務と責任は、測定可能な結果をもたらし、カッサ大使はあらゆる階層の市民から称賛と尊敬を得ることができました。カッサ・ゲブレヒウオト大使は、連邦補助金および共同収入常任委員会、連邦議会、エチオピアースーダン共同境界委員会など、さまざまな委員会や委員会に参加し、高い価値を得ました。カッサ大使は、エチオピア公務員大学（エチオピア、アディスアベバ）で経済学の理学士号を、アズサパシフィック大学（カリフォルニア州アズサ）で組織リーダーシップの修士号を取得し、「年間最優秀学生」として表彰されています。カッサ大使はさまざまな国を訪れ、新しい文化を探求し、さまざまなコミュニティと関わりを持つことができました。

※訳文は、[www.DeepL.com/Translator](http://www.DeepL.com/Translator)（無料版）の翻訳に修正を加えたものです。

### イ 外務省「[カサ駐日エチオピア大使による鷺尾副大臣表敬](#)」（2021年9月13日）

9月13日14時15分頃から約30分間、鷺尾英一郎外務副大臣は、カサ・テクレブルハン・ガブラヒウオット駐日エチオピア連邦民主共和国大使（H.E. Mr. KASSA Teklebrhan Gebrahiwet, Ambassador of the Federal Democratic Republic of Ethiopia to Japan）による離任表敬を受けたところ、概要は以下のとおりです。

1. 冒頭、鷺尾副大臣から、カッサ大使が2019年の駐日大使着任以来、日・エチオピア関係の発展に尽力されてきたことに感謝を述べるとともに、引き続き両国関係の発展に御尽力いただきたい旨述べました。

...

### 2. カサ・テクレブルハン・ゲブレヒウオト元駐日大使の亡命について

本調査で難民研究フォーラムが参照にした情報源からは、カサ・テクレブルハン・ゲブレヒウオト氏の2021年9月13日以降の動きに関する情報を見つけることができませんでした。

### 3. その他の関連情報

ア 記事「[エチオピアのオランダ大使がアビィ・アハメドを棄てて米国で庇護を求める](#)」TGHAT (2021年8月31日)

イ USCIS「[一時保護資格の指定国：エチオピア](#)」(2022年12月20日閲覧)

一時保護資格 (TPS) の延長 :	2024年6月12日まで
登録期間 :	2022年12月12日～2024年6月12日
米国に継続して居住	2022年10月20日から
米国に継続して実際に在留	2022年12月12日から
一時保護資格 (TPS) の指定日 :	2022年12月12日
連邦官報公告の引用 :	87 FR 76074

ウ 記事「[在米エチオピア人が内戦を理由に 18 か月の在留が可能になる](#)」Los Angeles Times (2022年10月21日)

祖国での内戦のため、米国にいるエチオピア人は18ヶ月間滞在し、労働許可証を申請する資格があると、米国国土安全保障省当局が金曜日に発表した。  
...

参照 :

外務省「[カサ駐日エチオピア大使による鷲尾副大臣表敬](#)」(2021年9月13日)、オンライン : [https://www.mofa.go.jp/mofaj/afr/af2/et/page3\\_003126.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/afr/af2/et/page3_003126.html)

西ミシガン大学「[International Conference on African Development Presenters > Ambassador Kassa Tekleberhan Gebrehiwot](#)」(2022年12月20日閲覧)、オンライン : [https://scholarworks.wmich.edu/icad\\_presenters/10/](https://scholarworks.wmich.edu/icad_presenters/10/)

TGHAT「[Ethiopia's Ambassador to the Netherlands abandons Abiy Ahmed and seeks asylum in the USA. \(エチオピアのオランダ大使がアビィ・アハメドを棄てて米国で庇護を求める\)](#)」(2021年8月31日)、オンライン : <https://tghat.com/2021/08/31/ethiopias-ambassador-to-the-netherlands-abandons-abiy-ahmed-and-seeks-asylum-in-the-usa/>

Los Angeles Times「[Ethiopians in the U.S. will be eligible to stay for 18 months due to civil war \(在米エチオピア人が内戦を理由に 18 か月の在留が可能になる\)](#)」(2022年10月21日)、オンライン : <https://www.latimes.com/california/story/2022-10-21/biden-to-provide-protected-status-to-ethiopian-immigrants-in-the-us>

(利用した検索エンジン・媒体等)

Google、<https://www.google.com/>

インスタグラム、<https://www.instagram.com/>

ツイッター、<https://twitter.com/>

フェイスブック、<https://www.facebook.com/>